

【別紙様式 I】 令和6年度 学校評価報告書

学校名 厚木市立依知南小学校

厚木市教育委員会の基本目標

- 1 自ら学び、鍛え、未来を拓き、夢や可能性に挑み続ける力の育成【挑戦】
- 2 自他の命や豊かな感性を大切にし、多様性を認めながら共に生きていく力の育成【共生】
- 3 変化する社会に自ら進んで関わり、人々と協働してより良い社会を創る力の育成【創造】

校長名 関口 明子

学校教育目標

学校経営の方針

- ◎自ら学びよく考える子
- ◎心豊かでやさしい子
- ◎健康でたくましい子

◎すべての子どもが大切にされ、心地よい居場所があり、安心して学ぶことのできる「インクルーシブな学校づくり」を基盤とした学校経営

今年度の重点目標

- (1) 主体的に学ぶ力の育成と確かな学力の向上<知>
- (2) 多様な個性を認め合う豊かな心の育成<徳>
- (3) 健やかな心身の育成と、安心・安全で地域に開かれた学校<体・安・開>
- (4) 機能的で効果的な学校管理<管>

評価項目・指標等	基本目標との関連	具体的な取組	成果と課題	次年度への具体的な改善策
児童の基礎的・基本的な知識や技能の習得を図る。	1	学力UPチャレンジ週間の内容を改善し、朝学習と家庭学習の連携を図った。	学校での学習と家庭での学習の繋がりを子ども達に意識させることができたが、その期間だけでなく継続できるようにすることが課題。	学力UPチャレンジ週間の内容をさらにブラッシュアップし、朝学習のもち方(学校として共通の課題への取組)を変更する。
支援教育の充実を図る。	2	SCやこころスマイル支援員など、学校での支援体制を整え、保護者に向けて周知した。	学校での支援体制を保護者に周知でき、さらによく活用された。支援を必要とする児童が適切な支援を受けられる仕組みづくりをさらに進めることが課題。	必要な支援に応じた教室や人の配置をより充実させていく。
児童の公共心、規範意識を育成する。	2・3	学校や社会のルールの一必要性等を子どもと教員で一緒に確認し、規範意識の育成に努めた。	意識できる場面も増えたが、子ども達が自分の判断で実行できるようにすることが課題。	公共のルールやマナーの一必要性を実感できるような場面を設け、共生していく意識を育てる。
地域や人材の教育力を生かした学習の充実	3	交通安全教室や昔遊び、地域にまつわる講話などを学年に応じた実施した。	地域特性を生かした学習ができた。児童が地域との繋がりを感じ、地域を大切にしたいという気持ちが育ってきた。地域との繋がりを絶やさず継続していくことが課題。	今年度の取組の継続と、より多くの学年で地域とのかかわりをもてるような計画の立案をしていく。

今年度の学校関係者評価委員会からの意見

地域との密着度が高く、地域特性を生かした学校行事や運営ができている。学校スローガンを基に、子ども達への学習・生活面での指導の継続を期待している。校舎建替え工事の進捗中、児童の学びや喜びにつながる行事を維持するためにもより一層の連携と相互理解を図っていききたい。また、児童が自ら地域に愛着をもち、よりよい街にしていこうとする気持ちをさらに醸成したい。

今年度の学校経営のまとめ ・ 次年度への改善の方針

支援の必要な児童の対応がなされるように仕組みをつくり対応していきたい。児童のよりよい学校生活や地域でお互いが気もちのよい生活ができるよう、挨拶や公共のマナーについても身に付けられるようにしていきたい。また、基礎的・基本的な学習の定着が図れる取組をさらに進める。